

会 議 議 事 録

1	会議名	平成26年度長岡市男女共同参画審議会
2	開催日時	平成26年8月27日（水曜日） 午後3時00分から午後4時30分まで
3	開催場所	まちなかキャンパス長岡501会議室
4	出席者名	<p>【委員7名】</p> <p>石川 伊織 金澤 ゆかり 黒岩 海映 小林 守 樋熊 憲子 平野 保雄 細金 文子</p> <p>【事務局5名】</p> <p>広瀬市民部長 小池市民活動推進課長 渡辺特命主幹 堀川係長 根津主事</p> <p>他に関係課職員14名が同席した</p>
5	欠席者名	<p>【委員5名】</p> <p>稲垣 文彦 小林 友子 土田 和美 米山 宗久 鷲尾 達雄</p>
6	議題	<p>(1) 第2次ながおか男女共同参画基本計画平成25年度実施状況について</p> <p>(2) 平成26年度実施計画について</p>
7	審議結果の概要	<p>（別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す。）</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>・市民部長よりあいさつ</p> <p>本日は、お忙しいところ審議会に出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>さて内閣府では、女性の活躍を経済成長戦略の中核に位置付け、女性が働きやすい環境を整え社会に活力を取り戻すため、総合的に施策を展開することとしている。本市においては、女性の労働力率が全国に比べて高いことから、ワーク・ライフ・バランスの推進を重点的に取り組むこととしている。とりわけ今年度は、若いカップルや夫婦を対象として、仕事と家庭生活の両立を2人で考えるセミナーを初めて開催する。また、もう一つ重点的に取り組むDV防止と被害者支援についても、配偶者暴力相談支援センターを中心として複雑かつ多様化する相談に適切に対応している。</p> <p>本日は、計画の推進状況について報告し、委員の皆さんから自由闊達な意</p>

見をお願いしたい。

3 議 題

(1) 第2次ながおか男女共同参画基本計画平成25年度実施状況について(資料2-1)

(会長)

今回はあらかじめ皆さんから資料をご覧いただき、質問意見をいただいているので、さっそく担当課からの回答に入りたい。なお、時間の都合上、数値など文書で丁寧に回答いただいたところもあるので、質問に丸印をつけたものを具体的に口頭で回答いただくこととしたい。

(広報課)

資料2-1、質問1【事業 1 広報の手引きの修正と活用】について回答

(学校教育課)

資料2-1、質問4【事業 6 小・中学校の教職員を対象とした男女共同参画を含む人権教育に関する研修】について回答

(委員)

「人権教育」ということで一括りにされると性差別の問題が前面に出てこなくなる。それについては平成25年度は具体的に何をしてきたのかということが見えてこないのだが、いかがか。

(学校教育課)

「人権教育」と括ってしまっているが、もちろん男女共同参画という視点も含めて行っている。道徳の授業の中で、互いに信頼し学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合うというような指導内容が明記されているので、授業をつくるにあたり、職員も自分自身の研修をしているというところである。

(委員)

具体的に男女共同参画に関して何をやったのか、またこれから何をやるのかということ報告の中に入れていただきたいと思う。

(保育課)

資料 2-1、質問 5【事業 7 幼児への男女共同参画学習】について回答

(委員)

身近な例として、トイレのスリッパの色を男女で分けているが、例えば黄色など、みんな同じでもよいのではないかと思うのでそうした検討もお願いしたい。

(市民窓口サービス課)

資料 2-1、質問 9【事業 11 自治会役員への女性の参画促進】について回答

(委員)

この数字をいただくと、次回女性たちが増えていくのではないかと期待している。

(委員)

他市で条例を作った際には、条例の中で町内会等の地縁団体も政策を推進する上で責務を負うということが書かれていた。責務を負う以上、そこで政策を遂行していく必要があるので、市が町内会の役員や会長を定期的に集めて学習会をやっていた。あまりうまくいかずに最近では行われていないようで残念だが、長岡ではこうした町内会への啓発活動のようなものは何か取り組んでいるのか。

(市民窓口サービス課)

町内会の会長を集めての研修会は実施していない。地域の町内会の自主性を尊重した中で、その地域ごとの様々な事情や活動があるため、全体に関しての研修会等は行っていない。

(委員)

自主性に任せると大概何もしないというのが常であるが、さらに問題なのは、町内会の役員層がどんどん高齢化しており、町内会自体が崩壊しかけていっているところもある。そういう意味では、町内会の活動を活発にするためにも市役所がテコ入れをすることがこれから対策として必要になってくるかと思うので、今後そうしたことも含めて町内会向けの支援をお願いしたい。

(農政課)

資料 2-1、質問 13【事業 16 活き活き農らいふ支援事業】について回答

(委員)

6次産業ということで理解してよいか。今後とも支援をよろしくお願ひしたい。

(委員)

この質問に関連して、農業委員の女性委員数が0というのは、どういうことからこのような数字になっているのか、市ではどのように把握しているかを聞かせてほしい。

(農政課)

さまざまな理由が考えられるので、これだと一概には言えない。国でも農業委員会のあり方を議論している最中であるし、役割についても今検討している最中である。その中で女性の委員を増やそうということも国の方向に入っているので、女性の意見を農政の中にも取り入れていくのがこれからの方向である。現状については、これまでの役割の中に、女性の意見を反映するような場があったのかどうかということも一つ考えられるかもしれないが、一概には言えないところである。

(委員)

農業委員には資格要件があり、それで引っかけってしまう人がいると聞いたことがある。それも問題なのではないか。選挙などのしくみや、あて職であったりするような制度の問題がかなりあると思うが、今後推進できるようにしてほしいと思う。

(事務局)

農業委員は資格要件を満たした中で女性が選挙に立候補することができるが、なかなか女性が手を上げられないという状況がある。また、団体推薦枠もあるが、充て職になっているという状況もある。市の審議会・委員会等も同じだが、女性の役職が少ないため、女性委員の推薦が少ないという状況だ。今後、市の審議会・委員会等においても女性委員の裾野を広げていって結果的に人数が増えれば、充て職にも女性が登用されてくると想定される。今すぐに何人というのは想定できないかもしれないが、何年か後には農業委員や市の審議会委員等にも女性が多くなっていくのではないと思う。

(委員)

南魚沼市には女性の農業委員は複数いるので、できないことはないと思う

が。

(事務局)

他市ではそうした例もあるが、やはり長岡地域という風土が影響しているのではないかと思う。

(委員)

他の地域では、選挙に出ると言った女性委員をフォローしている女性たちがいるようで、その力が大きいようだ。やはり女性が出るとなると、男性からのバッシングがあったりと大変のようだが、周りからのフォローがあるおかげで頑張れるんだといって委員になっている。一人最初に出る人はすごく勇気があると思うが、周りから押すなり制度を整えるなりでフォローしてもらえれば、もっと輝く女性が増えると思う。

(委員)

実際問題として裾野が狭いというのがある。そうすると、女性委員の数を上げようとなると一人の女性がいろいろなところで委員を掛け持ちしている現状がある。そのため、現状では少ないにしても裾野を広げていって該当者になる女性を増やしていくことが一方では必要で、同時に数値が上がっていくための努力、つまり両面からの努力が必要である。そのために市役所からいろいろな方面での働きかけが必要か考える。

(子ども家庭課)

資料 2-1、質問 18【事業 21 妊娠・出産期における健康支援】について回答

(委員)

未婚で妊娠した女性が相談する窓口など、広く市民の皆さんが相談しやすいような取り組みをしていただけるよう、今後も支援をお願いしたい。

(子ども家庭課)

資料 2-1、質問 20【事業 23 青少年育成活動】について回答

(委員)

「賞賛」というのが入っていることを大変評価する。それから、要注意行動をしているのはその裏にきっと何かがあるわけで、会話の中においてその裏にあるものを聞ける大人でありたいと私自身も思うので、今後とも賞賛を

含めてやっていただきたいと思う。

(商業振興課)

資料 2-1、質問 23、24【事業 29 再就職準備セミナー】について回答

(委員)

女性を巡るさまざまな問題にもつながっていると思うので、女性の経済力をつけてもらうための市の施策として大変意義があるものだと思っている。意外と知らない方がまだまだいるのではないかと思うし、もっと掘り起しをしていくべきものではないかと思うので、引き続き皆さんに周知徹底を図っていただきたい。

(委員)

女性の経済力を高めるという視点はとても大事だが、実際に再就職できなければ収入が入ってこないで、そこまでの支援をお願いしたいと思う。その支援までしていただけると、また一人女性が社会で活躍できるので是非とも支援をお願いしたい。

(委員)

もう一点。企業の求人にしても、男女の区別や年齢制限を一切してはいけないということになっている。いくつになってもチャレンジできるような環境を市から企業の方に促すような施策を一つお願いしたい。

(委員)

再就職の準備を支援していくということになると、目標は再就職することなので、実現するためには企業の側が採用してくれないとどうにもならない。再就職を希望する側への支援だけでなく、こういう形で採用を増やしてくださいという企業向けの取り組みもしていかないと意味がないので、そうした支援も市から考えていただければと思う。

(生涯学習文化課)

資料 2-1、質問 26【事業 31 まちなかキャンパス長岡管理・運営事業】について回答

(委員)

市民は行政と一緒にまちづくりを担う一員であるので、これからも支援を

	<p>お願いしたい。</p> <p>(委員)</p> <p>以前は、市が企画する講座の参加者層は定年退職後の方、家庭の主婦層というような感じだったが、現在の参加者の年齢層や性別構成など、わかれば教えてほしい。</p> <p>(生涯学習文化課)</p> <p>詳しい数字はお伝えできないが、例えば、まちなかカフェではなるべくいろいろな世代の方が男女問わず参加してもらいたいということで、ほとんど平日の19時スタートで行っている。仕事があるため、どうしても男性の参加は少なくなってしまうが、それでも男女問わず積極的に集まっているし、そうした環境作りに努めている。</p> <p>(子ども家庭課)</p> <p>資料2-1、質問27【事業 35 ブックスタート事業】について回答</p> <p>(委員)</p> <p>お父さんによる読み聞かせも大事だが、本の中身として、性別役割分業が入っているような内容では困ると思ってお聞きした。また視点を持ちながらお願いしたい。</p> <p>(委員)</p> <p>子育てが初めての男性で、子どもの本の読み聞かせをやっている方々がいる。面白いのは、父親は自分が父親になる自覚をいつ持つのかということ。パートナーから妊娠を告げられた時にすぐに自覚を持つ人は多くないそうだ。徐々に自覚を持っていくのだが、その中で例えば絵本の読み聞かせの練習をすることで心構えをつくっていったというような話がある。絵本の読み聞かせは自分が父親になる、家庭責任があるのだと男性が学んでいくためのきっかけになる試みでもある。そうすると単に絵本を配るとか、単に読み聞かせするというだけの話ではないと思う。その点で、活動の進め方や本の選び方にももう少し工夫や配慮が必要だと思うので、よろしくお願いしたい。</p> <p>(子ども家庭課)</p> <p>資料2-1、質問28【事業 40 母子保健推進員活動】について回答</p>
--	---

(委員)

実際に子どもを育てているお母さんと、姑さんにあたる親の代である母子保健推進員さんとのギャップはだいぶあるようで、その中で悩んでいるお母さんがいることを理解していただきたい。ギャップを埋めてあげるような、上手に子育てできるようなお母さんたちへの支援をしていってほしいと思う。

(委員)

市民意識調査などでの統計ではっきりしているのだが、男女問わず仕事の問題については、退職した後では当事者ではなくなるため意見がすごく保守的になる。家庭の中ではどうかというと、家族の中での役割や考え方は実は50代ですごく保守化する。それは子育てが終わって、もう子どもの問題について自分は当事者ではないと感じることが理由ではないかと思う。そういう意味では、子育てが終わった皆さんに母子保健推進員になっていただくということなので、推進員に対して講習会をしっかりとやっていく必要があると思う。単純に年を取ると保守的になるわけではなくて、推進員の皆さんが家庭の中で子育てをどのように担ってきたのかということや、子育てが終わった人の意識はだいぶ変わってしまうのだということを考えながら研修等を行ってほしい。

(2) 平成 26 年度実施計画について (資料 2-2)

(子ども家庭課)

資料 2-2、質問 5【事業 21 妊娠・出産期における健康支援】について回答

(委員)

父親としての自覚がなかなか持てないことが問題だろうと思って質問した。長岡のオリジナルのカードを出しているということで大変心強く思う。

(市民活動推進課)

資料 2-2、質問 7【事業 52 配偶者暴力相談支援センター機能の整備】について回答

(委員)

高齢者、障害者、外国人等多様化しているので、相談が多くなると思い、

さらなる支援の充実が必要だろうと思って意見を出させてもらった。

(会長)

一通り、取り上げる項目が終わったので、25年度の実施状況についてでも26年度実施計画についてでも構わないが、委員の皆さんから意見等あればお願いしたい。

(委員)

DVの関係で毎回気になるのだが、足りないのは、幼少時からの暴力防止教育だと思っている。そのため、保育課、子ども家庭課、学校教育課等でもう少し男女共同参画なり、暴力防止という視点での施策を具体化してもらいたいと思う。

事業を見ていくと、例えば25年度実施状況の【事業 49 学校におけるセクシュアル・ハラスメントの防止】を見ると、通知を配っているだけのように見えるので、そうでなければそうでない部分の説明をお願いしたい。単に人権に関する教職員の意識向上だけでは足りないので、男女共同参画なり暴力防止教育という観点から具体的な施策をやっていただきたい。

それから、町内会の女性役員数が非常に少なかったり農業委員はなんと女性0ということで驚いているが、これについては原因の分析、具体的施策の実施、その成果の検証、うまくいっていなければ施策の見直し、このサイクルをきちんと経て前に進めていかなければならないのではないかと。

そしてもう一点。担当課からの回答やこの場でのやり取りを聞いていて思ったのは、事業名を見ると、例えば「幼児への男女共同参画学習」となっており、幼児に対し男女共同参画の視点を保育の中でどれだけ取り入れているかということが問われているのだと思う。しかし、回答を見ると父親が参加しやすいように、というところで父母の子育てについての男女共同参画の視点になっているので、ここは完全にかみ合っていないのではないかと。先ほどの絵本についても、男女共同参画の視点を持った絵本を保育園の中で活用していくことは非常に重要だと思うので、その点からの中身の見直し、今後のこの審議会での報告を期待している。

子どもに与える影響というのは、特に幼児の頃はものすごく大きいので、その段階でどれだけ男女共同参画の視点を入れているかが重要になってくると思う。意識を変えるのは大人になってからでは遅いのである。幼児、小学校の頃からきちんとやっていただきたいので、保育課、子ども家庭課、学校教育課に最大の期待をしている。

(事務局)

まず事業 49 について、私どもの方では、DVを防止する予防教育が重要だということを認識しており、平成 21 年度にデートDVという啓発用冊子を作り、その翌年度から市内の中学校・高校に出前講座ということでDVDや啓発冊子を使った講座を実施している。長岡市だけでなく、定住自立圏の小千谷市や見附市、出雲崎町の学校に、主に高校で実施している。生徒等からのアンケートを見ると、DVに対する認識が改まり、講座を受けて良かったという内容が多い。学校側も継続して毎年来てほしいというところや、他校の評判を聞いて是非うちにも来てほしいというところもある状況だ。

(学校教育課)

DVに関してということだが、人権教育ということで大きく括って報告しており申し訳ない。手元に情報がないので報告できないが、ご指摘のとおり、全てひっくるめて人権教育ということではなくて、個別に課題を明確にして学校の方に指導等していければと思っている。

(子ども家庭課)

NPO 法人と協力して啓発活動を行っている。具体的には、「怒鳴らない子育て講座」を実施している。

(委員)

男女共同参画について具体的に何をしているかがわかるように、今後推進状況に記載してくれるようお願いしたい。

(委員)

人権教育ということで一括りにするのではなく、個別にこの課題については何を、どのように具体的に設定して取り組んでいくことが、教育や啓発活動においては非常に重要になる。

また、日本の法律上は男性か女性かを分けなければならないが、現実に遺伝子レベルで性別が決まらない病気の方もいらっしゃる。その人たちの人権がどうなるのかと考えたとき、そこには非常に大きな問題があると思うので、すべての人間が自分の生まれによって差別されないという状況をどのようにつくっていくのかという観点で問題を組み立て直し、有効な手立てを打てるようになっていくと良いと感じている。

(事務局)

長岡市の場合は平成 24 年 3 月に策定した人権教育・啓発推進計画の中で、同和問題や女性、子ども、障害のある人など分野別の課題として位置づけ、共通してきちんと啓発しなければいけない部分については誰もが人権を尊重されるというところにつけるので、鋭意取り組んでいるところである。性的マイノリティに関しても計画書の中に記載し、啓発等取り組んでいる。

(委員)

おそらくは報告書の記載の仕方に問題があるのだと思う。人権問題について一生懸命取り組んでいるという総括的な記載だけではぼやけてしまい、かえって長岡市が取り組んでいることが見えてこなくなるので、来年度の推進状況の記載については、その部分を一括りにしないで具体的な記載をお願いしたい。

(事務局)

記載等の仕方に関して、資料 1 は 24 年度からの経過がわかるような形にしたが、皆さんからご指摘いただいているので、記載の方法を検討したい。事業の経過を踏まえて見直しをしながら取り組んでいきたい。

それから、農業委員会等の女性委員に関する発言もあったが、それらについては市の審議会・委員会等でも検証をし、女性登用のための指針を定めて具体的な方策を示しながら全庁的に働きかけている。女性委員がいない審議会等も年々減ってきている状況である。資料 2-1-1 をご覧いただきたいのだが、平成 25 年度の数字で女性委員がいない審議会等は 7 件である。24 年度は 11 件、23 年度は 12 件というところで年々減少してきているが、まだ残っているので今後も各担当課の方に指針を順守するように働きかけていきたい。

(会長)

それでは、他にご意見等あればお願いしたい。

(委員)

商工会地域は小さな職場であり、夫婦でやっているところもあるので、女性の方から出てもらえるとありがたいと思っているが、なかなか難しい状況である。商工会にも女性部がある。こちらもなかなか人数が集まらずに困っているが、これからは夫婦の代表として女性から積極的に出てもらえるとありがたいところである。

	<p>(委員)</p> <p>再就職準備セミナーに関する部分と関連するのだが、できれば再就職という選択ではなくて、その職場で培ってきた様々な経験をその人は持っているわけなので、復職という選択ができるような、企業に対する働きかけを行政にお願いできないかと思っている。</p> <p>中には、制度自体を知らない従業員の方がまだまだいらっしゃるようだ。例えば母子手帳を交付する際に、長岡市が作成した「働きやすい職場環境推進マニュアル」等も渡すなどして、できるだけ事業主とうまく話をして、制度利用後も継続して働き続けられるようになっていくとよいと思う。そうした環境ができれば、もっと女性が活躍できるし家庭でも良い関係ができると思うので、それも含めてお願いできればと思っている。</p> <p>(商業振興課)</p> <p>いただいた意見を参考に、今後また検討させていただきたいと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>ひとつ褒めたいこともある。昨年度の報告よりも今回は具体的に書かれていて良かった。だが、まだまだ足りないので、今後はより具体的になるようよろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日は貴重な意見をいただき、本当に感謝申し上げたい。毎年事業を検証しながら反省点を翌年度につなげているが、推進状況についても記載の仕方等検討してまいりたいと思う。</p> <p>以上で男女共同参画審議会を終了とする。</p> <p>4 閉 会</p>
8	(出席委員の署名欄) (略)
9	<p>資料</p> <p>(1) 第2次ながおか男女共同参画基本計画推進状況</p> <p>(2) 平成25年度実施状況 質問・回答一覧</p> <p>(3) 平成25年度女性委員登用推進計画書30%未満の審議会等(抜粋)</p> <p>(4) 平成25年度育児・介護休業取得状況、両立支援等に関する調査</p> <p>(5) 平成26年度実施計画 質問・回答一覧</p>